

8月25日(水曜日)

ドル/円

政府・日銀の対策待ち

24日(火)の主な推移

チャート: 30分足 24日(火)朝6時 ~ 25日(水)朝6時

NYダウ平均

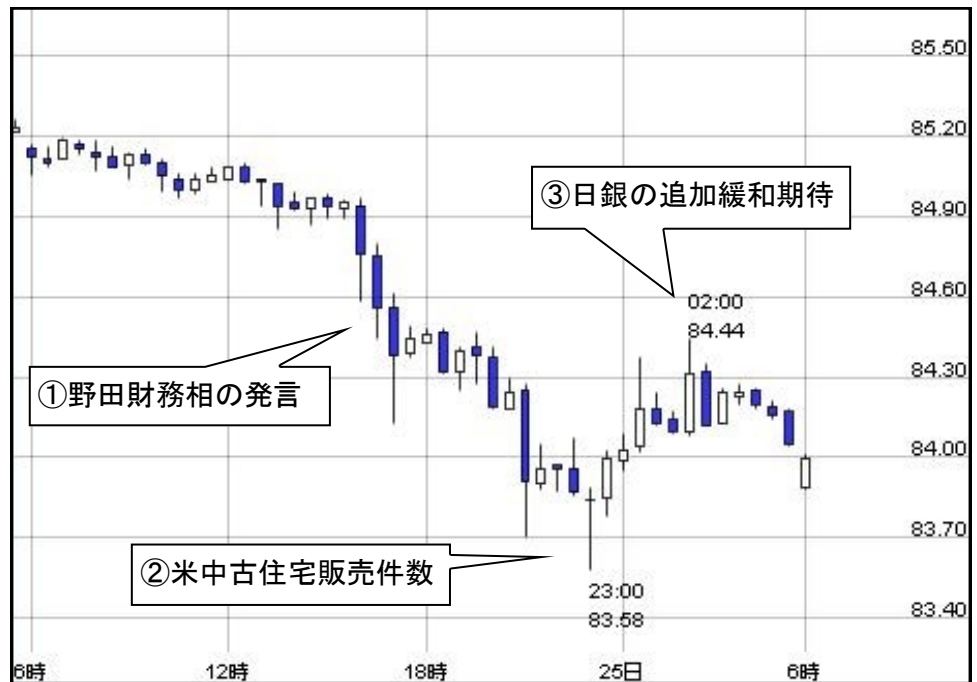
10040.45ドル
(-133.96ドル)

米長期金利
(10年債利回り)

2.4951%
(-0.1030%)

NY原油先物

71.63ドル
(-1.47ドル)



※チャートは30分足 日本時間にて表示 ※左表は終値ベース、()は前日比
出所: 外為どっとコム

①

主要国株価が軟調に推移する中、ドル/円は円買い優勢で推移。17時前に野田財務相が行った記者会見において、為替相場に対して「重大な関心を持ち、極めて注意深く見守る」「介入についてはコメントしない」というそれまでの姿勢を一貫し、目新しい材料は出なかったことから、失望感を背景とする円高が急激に進む場面も見られた。

②

NYダウ平均先物が一段安となったことを背景に1995年6月以来15年以上ぶりに84円を割り込んだ。さらにその後に発表された米国の7月中古住宅販売件数が年率換算で383万件と市場予想(465万件)を大幅に下回った上、前月分も537万件から526万件に下方修正されたことを背景に、米国経済の先行きに対する不安が強まり、NYダウ平均は一時1万ドルの大台を割り込んだ上、米国債利回りが大幅に低下。これを受けてドル/円は23時過ぎに83.58円の安値をつけた。

③

ドル/円はショートカバーなどにより84円台を回復。さらに、日本経済新聞社が「急激な円高・株安を受け、日銀は金融緩和策の検討に入った。金融市場への資金供給拡充が有力」「市場の動向によっては9月6~7日の金融政策決定会合を待たず、臨時会合にて金融緩和を協議する」「財務相は円高に歯止めが掛からない場合、日本単独での円売り介入を視野に」などと報じたことを背景に、ドル/円は一時84.44円まで値を戻した。

上昇要因(ドル高・円安)

- ・米国経済の回復
- ・米長期金利の上昇
- ・米国の超低金利政策の長期化観測の後退
- ・金融市場全体のドル売りムードの緩和
- ・日銀の追加緩和観測
- ・日本の財政赤字への懸念

下落要因(ドル安・円高)

- ・米金融規制案への懸念
- ・米国の超低金利政策の長期化観測
- ・米長期金利の下落
- ・米国経済の回復の鈍化
- ・米財政赤字悪化懸念の高まり

本日の見通し

本日の予想レンジ: 83.00— 85.50円

本日は昨日の急激かつ大幅な円高を受け、政府や日銀から何らかの対策が打ち出されるかが最も注目される。

今朝付けの日本経済新聞にて、日銀が9月に予定されている金融政策決定会合まで待たずに臨時会合を開き、資金を期間3カ月、0.1%で貸し出す「新型オペ」を20兆円規模から30兆円規模に拡充し、期間も3カ月から6カ月に延長する案について議論する見通しと報じられた。本日も臨時会合が開かれる、もしくは「明日にも開く」との発表があれば、昨日急激に進んだ円高に対するショートカバーでドル/円はある程度値を戻す公算だ。ただ、前述の拡充案については市場でしばらく前から予想されていたこともあり、継続的な日本株の上昇転換や円安要因となる公算は小さい。また、引き続き何ら政府や日銀から対策が出てこない場合は、一層の円高が進む可能性がある。

一方、可能性としては低いと見られている日銀による国債の買い取り規模拡大や、政策金利のゼロ金利化など、予想外の緩和策が打ち出された場合には、急激に円安に振れることも考えられる。報道には注意し、急激な値動きには備えておきたい。(ジェルベズ)

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 時間は「日本時間」

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
8/25(水)	◎	21:30	(米) 7月耐久財受注 [前月比]	-1.0%	+3.0%
	◎	21:30	(米) 7月耐久財受注 [前月比: 除輸送用機器]	-0.6%	+0.5%
	◎	23:00	(米) 7月新築住宅販売件数	33.0万件	33.0万件
		23:00	(米) 6月住宅価格指数 [前月比]	+0.5%	+0.1%
	○	26:00	(米) 5年債入札(360億ドル)	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com